

日本遺産の認定について

国が今年度新たに創設した日本遺産について、「灯り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～」(石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町)が4月24日に認定された。

1 日本遺産について

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」に認定するとともに、ストーリーを語るうえで不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図る。

2 今回の日本遺産の認定件数について

全国で18件(24府県)を認定

(2020年までに、全国で100件程度認定予定)

3 「灯り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～」のストーリーの概要について

日本海文化の交流拠点である能登半島は独自の文化を育み、数多くの祭礼が行われてきた。その白眉はキリコ祭りと呼ばれる灯籠神事。夏、約200地区で行われ、能登を照らし出す。日本の原風景である素朴な能登の里山里海で神輿とともに、最大で2トン、高さ15mのキリコを担ぎ上げ、激しく練り回る。祇園信仰や夏越しの神事から発生した祭礼が、地区同士でその威勢を競い合う中で独特な発展をし、そしてこれほどまでに灯籠神事が集積をした地域は唯一無二。夏、能登を旅すればキリコ祭りに必ず巡り会えると言っても過言ではなく、それは神々に巡り会う旅ともなる。